

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

星野富弘「花の詩画展」

2026 年 5 月 / コラーレ

星野富弘「花の詩画展」が 15 年ぶりにコラーレで開催された。オープニングセレモニーで群馬県みどり市から駆けつけてくださった、富弘美術館の聖生館長のお話を聞くことができた。「彼は毎日、野山を駆け回り棒切れを振り回してチャンバラごっこで遊ぶ、とにかく体を動かすことが大好きなわんぱくな男の子でした」幼馴染みならではのエピソード。そんな星野さんが、24 歳の若さで首から下の自由を奪われ、絶望の淵に沈む日々の中、その憤怒を思わずお母様にぶつけてしまったこともあったと、「紹介映像」でご本人が仰っていた。

何度も生死をさまよい、明日への希望を見出せない日々。お見舞いにと大学の先輩が届けてくれた聖書でキリスト教と出逢い、生きようと思う。病室で洗礼を受け、その後、昌子さんと結婚。9 年余りの入院の後、施設ではなく、古里の山々に抱かれた自宅での生活が叶った。生きるために必要なすべてを、そしてライフワークとなった詩画の作成を二人三脚で支えるのは、お母様から奥様へとバトンが渡された。お母様への想いは『ぺんぺんぐさ』に、奥様への想いは『がくあじさい』に、作品から大きな感謝が伝わってきた。

星野さんの絵は優しく美しく、添えられた詩は温かみに溢れている。ほとんどの人は見過ごしてしまうであろう道端の小さな草。美しく咲き、そして散り行く花の横で出番を待つ蕾。そんな草花が星野さんの心に届き、1 枚の絵となって、深く心に沁みる言葉と共に見ている者に語りかける。会期中、富弘美術館の相崎学芸員から教えていただいた星野さんの最後の作品『ツワブキ』は「そうか神様に生かされていたのか、そう気付いた時……」のことばから始まっていた。そうか、私も「生かされて今がある」のか。

心が少し清らかになったような、少し謙虚な人間になったようなこの想いを、1 日も長く自身の中に留め置かなければ、星野さんに出逢わせてもらった意味がないと強く思った。

<黒部市 Y.S>

宝くじ まちの音楽会

南こうせつ with ウー・ファン

2026 年 6 月 4 日 / コラーレ

ついに南こうせつさんがコラーレにやって来る。黒部で聞けるなんて、思ってもみなかったこと。長く生きていると実現するんだ。それにこの公演は宝くじの公演とあってチケットが超お手頃価格の 2 千円、夢のような公演だ。

こうせつさんは昨年デビュー 55 周年だったそうだが、いかんせんこちらは『神田川』『赤ちょうちん』『夢一夜』ぐらいしか知らないのだけれど……。ここで聞かなければもう生で聞く機会は来ないだろうと、発売開始日にチケットを買った。ようやく手に入れたのは 1 階席後方のポツンとひとつだけ空いた席だ。チケットは完売。人気は健在だ。

当日会場はいつになくシルバー世代の二人連れが多くて微笑ましかった。オープニングの『青春の傷み』から『ポロシャツの頃』『赤ちょうちん』へ、こうせつさんは 77 歳だが歌声は柔らかくて伸びやか。一気にあの頃、青春の真っただ中に連れ戻されて、私の両サイドの男性からも静かに口ずさむ歌声が聞こえてきた。こうせつさんのヒット曲と同世代で歌の世界観と青春時代がリンクしているのだろう。曲ごとに入る MC も穏やかな語り口で幼い日の思い出を語り、『幼い日に』『うちのお父さん』へと進んだ。ここでウー・ファンさんの登場である。ウー・ファンさん、実はコラーレは 2 度目。2004 年 3 月のワールドフェス「Earth Moving」で古箏の演奏をされていた。美しい音色で『雪山春曉』『花咲く旅路』と 2 曲演奏。休憩を挟んでこうせつさんと『上海エレジー』『夢一夜』と、神秘的な演奏を楽しんだ。黒部の女性コーラス「カンターレ」の演奏もあり、こうせつさんのステージに立てた嬉しさと堂々として楽しげな歌いっぷりが伝わって来た。

この曲を聞かないと終われないお待ちかねの『神田川』。『満天の星』では掌をお星さまの様にキラキラさせて盛り上がった。こうせつさんのやさしい笑顔と温かい歌声、穏やかなおしゃべりにいつまでも浸っていたかった。

<昔のお嬢さん>



ある日の「アコギを楽しむ会」

ギター好き「アコギを楽しむ会」メンバーが
とある日の活動をご報告します♪



4 月 29 日祝、「コラーレ de フリーマーケット」で演奏しました。今回はちょっと懐かしい日本の曲を中心に選曲しました。楽しんでいただけたでしょうか。



アコギを楽しく演奏するためにはメンテナンスが必要です。練習前にはこんな感じでギターをチェックすることもあります。メンテナンスキットは必需品です。



24 時間ライブに向けての練習がはじまりました。原曲のイメージを残しつつ、オリジナルのアレンジにしていきます。さあ、こんなアレンジはどう？



新聞部からのおてがみ

いよいよお待ちかね、年に 1 度の「コラーレ 24 時間ライブ」が 8 月 29・30 日に開催されます。今回の特集では、ライブに出演する 3 つのアクティブグループを紹介しました。

8 月末、まだまだ暑さ真っ盛り。出演される皆さんの情熱も熱々です！ アクティブグループ以外にも、爽やかな音色やパワフルな演奏、素敵ダンスなど、いろんなジャンルのパフォーマンスが繰り広げられます。

自分自身も、そして世界中の方が笑顔になるためのチャリティーイベント、皆さんぜひ足を運んで楽しんでください！

<月がふたつ>

編集後記

- 昭和に活躍した著名人が次々と新盆を迎える。年々多くなる気がするが、昭和から数えて 101 年なのだから仕方がない。いつまでも変わらずに、と書いていても時の流れは無常だね。今のうちに昭和のよき時代の思い出を楽しもう！（布袋）
- 運転免許更新の認知機能検査を受けました。後日、高齢者講習が。これは目の検査と実車運転検査があり、私はマニュアル車しか運転出来ません。用意されている全てがオートマ車でマニュアル車は 2 台だけ。次回はオートマ車でと言われました。（トホホ）
- 不味いと言って、水を飲めない子が増えているらしい。感染予防や熱中症防止の為、水筒持参でスポーツドリンクなど甘味を飲む習慣になった事が理由の一つだとか。災害時に水しか無い場合どうする!? 心配な話題だあ……。 （パペポ）
- 黒部名水マラソンにエントリーしてましたが、ものの見事に寝坊してしまった。予約していた駐車場も通行規制時間により入れず。隣の施設の駐車場に停める人も居たけど、良心が許さず。新潟でリベンジかな。（どら）
- ヨーロッパ各国では猛暑が猛威を振るっている。これまで夏でも温暖で過ごしやすい地域が多かったため、冷房の普及率は極めて低く、その結果、熱波が原因で死亡する人が多い。地球そのものが高熱の病に喘いでいるかのようだ。（人間要因>自然要因）
- いつも流行から出遅れてしまう私。やっと AI のアプリをダウンロードしました。それからは困ったら頼りっぱなしです。でも、パッと浮かぶ閃きが減ったような気がします。苦労の末に道がパツと開けるあの感覚、忘れないようにしたいです。（月がふたつ）



投稿記事募集中

【こんなン観てきました】

コンサート、演劇、映画、美術展等の鑑賞レポート。会場はコラーレ以外でも O K。1,000 字程度で、公演タイトルと鑑賞日も忘れずに。

【気ままになんでも写真館】

あなたが撮った写真を送ってください。「畑でできた大きな大根を見て」「我が家のペットです」等、何でも O K！コメントは 120 字程度で。

【わたしの旅行記】

国内、海外問わず、旅行体験を 1,000 字程度で書いてください。